

キラキラ WEB 教室@home

肢体不自由等のある幼児とその保護者を対象とした教室です。

第2回 「安全でおいしく楽しい食事」

「食べる」ということは、栄養をとるだけではなく、「味や香り、食感、見た目を楽しむ」、「食事を通して人とのやりとりを楽しむ」など、生活の質を高める様々な意味をもっています。今回は、学校での食事の様子や食事指導で使っている食具を紹介いたします。

食事の様子

～上手に食べる練習をしよう！～

口の動きに困難さがあると、上手に食べることが難しくなります。発達段階に応じた口や手の動きを学ぶことができるように、子どもの立場に立って丁寧な指導や食事介助をしています。



食事指導で使っている食具

平スプーン

平らなので、口の力が弱くても握り込みやすいスプーンです。



シリコンスプーン

柔らかく、浅いスプーンなので口を閉じる力が弱くても握り込みやすいです。



カットアウトコップ

鼻がコップに当たらず、透明なので口の動きも確認できます。



自助食器

スプーンで食べ物がすくいやすく、こぼしにくいお皿です。底面がシリコン加工されており、滑りません。



地域支援
センター



相談専用携帯電話 080-7307-7175

第2回担当：郡山支援学校 健康教育部